



Fujimi_3_Haizara-Cho(Rinzo_Shimizu)

2006-11-30

ハードロックの音で目が覚める

昨日、うっかりミニプレーヤーのイヤホンをしたまま寝てしまったら、ハードロックの激しい音で目が覚めた。

小さなスイッチを知らぬ間に押してしまったらしい。

日が短い。

夕方から灰皿町の飲み会で、桐田、高田、足立さんのいつもの面々とはしご酒をした。

初めてflvファイルを外で撮影したもので作ろうと思い、朝からゴールデン街の道を撮るつもりだった。

下はキャプチャしたもの。



[歌舞伎町・ゴールデン街の路地 \(06年11月29日・灰皿町飲み会\)](#)

†

DVIを保存するために1500円ぐらいのIEEE1394ボードを買ってWindowsマシンとFreeBSDマシンに取り付けた。SATAのハードディスクが1つ余っているので、これを外付けIEEE1394接続HDDにすれば映像が溜まったら保存庫にできるな、と思った。ただパラレルHDDの外付けを作るセットよりちょっと高いかもしれない。でもHDDはほうっておかないほうが長持ちするような気がして、長時間のビデオを撮ってaviファイルにしたら保存することにしよう。

23:00:00 - belle - No comments

2006-11-29

ミニプレーヤーに「フィンランディア」を入れる

ミニプレーヤーに、シベリウスの「フィンランディア」を入れた。パソコンにストックしておいて、自由にプレーヤーに出し入れできる。「フィンランディア」を聴きながら自分で作った熱いうどんを食べた。

†

今日の日の出をflvにしてみた。下はキャプチャした画像。

Navigation

[Previous 月](#)

[Next 月](#)

[Today](#)

[Archives](#)

[Admin Area](#)

Categories

[All](#)

[General](#)

[新しいカテゴリ1](#)

[新しいカテゴリ2](#)

[新しいカテゴリ3](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』 清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評 一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

Search

【翌日出荷】
20枚〜@348
円：熱や水に
強く手軽に加
工可能なプラ
ダンシート...

7,656円



今日の日の出の光景

11:57:11 - belle - No comments

2006-11-28

USBメモリプレーヤー

このあいだ書いたUSBメモリスティック型のプレーヤー・Sony NW-EE003というのに、CDを数枚転送してみた。なかなかいい音ができる。小さくて胸ポケットに入るのはやはりいい。

お茶を飲むのにも集中しながらBeatlesを聴いているのは不思議な感じ。いま「Stand by me」が鳴っている。

下のは右が128Mの普通のUSBメモリ。



このプレーヤーはSonicStageというのをダウンロード・インストールしてまずCDをパソコンに取り込み、これに転送するのだが、初めWindowsのfirefoxでダウンロードしたら何回もインストールに失敗した。なぜか。ふと思いついてInternet Explorerでやったらすぐうまくいった。

23:33:46 - belle - No comments

2006-11-27

夜景ビデオをflvにしてみる

地下鉄でRubyの本を読もうと思って探したら見つからないので、Pythonの本にした。

Pythonはプログラミングを始めようとする人がわかりやすいように作る、というコンセプトがあるようだ。それがgoogleに使われたり、Linuxでも主要な言語になっている。

†

Login

ログインID:

パスワード:

☐

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



【B5】120
枚〜@21.2円段
ボール箱。底面
B5で宅配60サイ
ズ対応の広告入ダ
ンボール箱

夜景をビデオに撮ってflvにしてみた。下はキャプチャしたもの。2.6Mのサイズ。驚異的な圧縮率だ。



「[3階からの夜景](#)」のスクリーンを押すと再生される。このサイズだと左の一時停止ボタンがきくようだ。

デジタルビデオからWindowsにaviファイルで取り込んで、flvにするのはアクロバチックにやったがそれほど難しくはない。
まず、[[3GP_Conveter]] ([[変換君]]) というのをWindowsでダウンロードして、たしか自己解凍ファイルになっているので、解凍する。
すると、coresというディレクトリができるので、flvにしたいaviファイルをそのフォルダに入れる。

MSDOSプロンプトから、
ffmpeg.exe -i nameoffile.avi -s 360x240 -ar 22050 nameofile.flv
でOKである。

ただ、webに公開する場合は、前に書いた表示swfファイルを取得して（左の検索窓にflvと書いて検索してください）HTMLファイルを書く必要がある。
ポイントはflvの音声周波数は「11025」「22050」「44100」の3つのどれかにしないと駄目なことだ。スクリーンサイズはカメラの説明書に書いてあるが、それを縦、横の比で縮小する。撮ったサイズでもできるが、縮小したほうがいいようだ。

23:00:43 - belle - 4 comments

2006-11-26

Imageindex、組写真の楽しみ

iGalは便利でいいな、と思っていたところ、FreeBSDの本にImageindexというソフトのことが出ていた。

これもPerlのプログラムだが、フレームを使ったりスライドショーという文字も例の写真に見える。

Debian GNU/Linuxでも正式Packageのようだ。

iGalのマニュアル（コマンドラインからman igalで表示される。Debian GNU/Linuxへのインストールはapt-get install imageindex）もよく読んでいないが、同じディレクトリに置く写真自体のサイズを変えられるのだろうか。サムネイルのサイズは変えられることはわかっているが、本体を変えられるとwebに載せるときに便利。Imageindexも似たようなソフトだが、試してみようと思っている。

†

息子から2Gくらいの容量のあるミニプレーヤーをもらった。それでちょっとCDからmp3へリッピングしようとしたがまだうまくいかない。たぶん、mp3へリッピングしてコピーすればいいのだろう。しかし、表示を見ると曲名が小さい文字で流れている。とすると違うのかな。

23:47:35 - belle - No comments

2006-11-25**Ruby**

夜、Rubyの練習でflvファイル表示のHTMLファイルを自動的に作るスクリプトを書こうと思っていたらついうとうとしてしまった。

秋葉原のジャンクショップで探すために、Linux、FreeBSDで動くサウンドボードのラベルと全体を写真に撮って、bloxom blogの「パソコン自作」のカテゴリに載せることにした。

23:37:44 - belle - 2 comments

2006-11-24**師走が近い**

うちではもうずいぶん前からクリスマスリースなど、クリスマスの飾り付けがある。近所でも夜を彩るイルミネーションを自前で家のベランダなどに飾っている家がある。

†

昨日買ったRubyの本は地下鉄で50ページほど読んだ。

とても便利そうなクラスがある。Perlやほかのスクリプト言語（アクションスクリプトとか）を知っている人はすぐに使い始められるだろう。

flvファイルをまたWindowsXPで作ってみた。下がキャプチャした画像である。



720x480ピクセルのと、縦横サイズを半分にした360x240ピクセルのものを作ってみた。「[今日のカオスとベルの昼寝の様子](#)」を押し、スクリーンをクリックすると再生される。

気のせいかな、先日、このDebian GNU/Linuxのffmpegで変換したもののほうが、音声はまだ含まれていないが品質がいいように思う。やはりFreeBSDマシンで試してみるべきだろう。

†

CDを聴くためにFreeBSDマシンのほうに来た。

「音楽CDリッパー」の「KAudioCreator」というのがKDEに付いていて、CDやメモリなどにmp3に変換して入れればたとえばCDには数十枚のCDが入れられる。どうもイヤホンを耳に入れるのがいやで、外であまり音楽を聴いたことがないが、このごろ「骨に響く」という耳に入れないのもあるようだ。FreeBSDにはすでにlameが入っていた。

やってみようかと思う。

23:18:23 - belle - No comments

2006-11-23

ffmpeg

またFreeBSDをインストールしてしまった。今度は、わかるまでいろいろと触らないことにする。この1週でSolarisも含めて5回ぐらいインストール・設定を行った。SolarisはLinuxやFreeBSDより周辺デバイスへの対応が遅れている感じ。

結局4台のパソコンを使いたいという、「猫4匹飼いたい」というのに似た心理だと思う。その場合、三毛、黒、トラ、白といろんな種類の猫。

ffmpegでの画像コーデックの変換は、Windowsでは成功したので、これからビデオを撮ったらflvにできるので楽しみだ。今日は、雨模様でビデオを撮る感じではなかった。

今これを書いているDebian GNU/Linuxは次期サーバなので、すでにあるffmpegを追加で新たに作り直したくない。ffmpegがupgradeされたときに作り直しておくとうなるか、ぼくもよく知らないからだ。しかし、便利なソフトであることは確かなのでFreeBSDのほうでなんとかやってみたい。画像や音声のコーデックはたくさんありすぎて、わかりにくい。

mpeg4フォーマットのビデオはそのままwebに置けるぐらい圧縮率は高いので、普通はそのまま置くのだろう。灰皿町の「試写室」にもいくつかmpeg4の映像を入れてある。しかし、これは圧縮率が高いのでたぶん編集しにくい。

ffmpegをDebian GNU/Linuxでソースからインストールするやり方については、

[「ffmpegをソースからインストール \(Yusukebe::Tech\)」](#)に出ている。

FreeBSDでは、[「ふと思う-ちょっと考える \(いたずら編\) : 2005年10月」](#)が参考になりそう。

RubyとPythonの本を買ってきてしまった。PHPもよく知らないでスクリプトを書いたりするが、基礎的な本が欲しい。

23:45:33 - belle - No comments

2006-11-22

このごろ、インストールマニア

なんだかインストールマニアになってきたようだが、FreeBSDはスキルを上げてからと思い、Solarisをインストールした。ところが、これがNIC（イーサネットカード）を認識しない。いつものようにInter Pro 100サーバアダプタを付けておくべきだった。

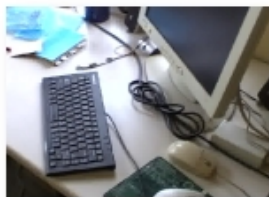
Vine Linuxで1年以上稼働していたオンボードネットワークインターフェースなので、Solaris10は当然認識すると思っていたのが誤り。FreeBSDは認識したものだ。でも画面はすごくカッコいい。

じつは、もう一つのハードディスクにSolaris10はインストールしてあるのだった。でもいまけっこうWindowsを使っているの、HDDを交換できない。ここ数日、いろいろやりすぎだなあ。

FreeBSDは感触としてすごいOSだ。Linuxはすごいことがわかっているが、FreeBSDもがっちりしているのがわかった（感じ）。そのうちスキルを上げて、また挑戦しようと思う。

だいたいネットワークに強いFreeBSDに単体で使う動画編集ソフトやコーデック変換ソフトを使うためにデスクトップを構築するのも間違いっぽい。しかし、そのうちやはり使ってみたい。

下は今日作ったflvファイルの一場面のキャプチャ画像。



音声付きのflvをきわめてアクロバチックに作りうまくいった。でも画面が少し粗い。縮小した動画にしたほうがいいのかもかもしれない。「[My Room](#)」を押し、スクリーンをクリックすると、ぼくの部屋が見えます(^)。

これはWindowsのffmpegのオプション付きにコンパイルしたものを利用した、携帯電話動画をiPod用の動画に変換するのに使うソフトのなかにあるffmpegの「単体」を利用するというアクロバチックな方法で作った。

23:44:41 - belle - No comments

2006-11-21

ジャンク扱いのサウンドボードを検証する

先日のjunk扱いのサウンドボードは、結局2つ使えることがわかった。期待していたより確率が悪い。でも2つ使えれば上々ということかな。これで、うちのすべてのパソコンでPCUNIX（をインストールしたとして）で音楽を聴ける。

使い始めて、どうなるかわからないFreeBSDも、このDebian GNU/Linuxもkernelのサウンドデバイスドライバはすべて最初にロードされる。それで、差し替えてみれば使えるかどうか、KDEの開始の音楽でわかるわけである。

なお、一昨日写真に写したのと別のものはMODEL:CT5800と書いてあり、裏にはA12227 Audio PCI 0014と書いてある。

23:28:43 - belle - No comments

2006-11-20

FreeBSDでまた沼にはまる

FreeBSDのReleaseアップグレードは、とてもハマりやすいことがわかった今日このごろ。

ちょっとソフトのportupgradeを試みていろいろコマンドを打ち込んだ後、firefox2.0が立ち上がらなくなった。コンソールから「firefox &」とやるとセグメンテーションエラー！ がっくり。

それで、「portinstall -fRr firefox」でまた時間を費すことになった。とはいっても、このコマンドを打ってほっとくだけだが(^)。

このコマンドは「firefoxが依存するもの、依存されるもの、firefox、を強制的にインストールする」という手段。FreeBSDは自分のマシンでコンパイルするのでインストールに時間がとてもかかる。Linuxに比べると根気が要る。でも、なんかいい感じなのである。

しかし、動画編集はまだ遠い.....。

23:49:07 - belle - No comments

2006-11-19

ゴミを宝に

FreeBSDで問題なく、音が出るサウンドボードをはずしてラベルを撮ってみた。こ

れは秋葉原で300円だった。埃もついていなくてあまり使っていない感じ。



「Trade Name Creative Labs Model Number CT4750」と書いてある。この「CT4750」が大事。[[CT4750 Linux]]でgoogleで引いてみると、音源ボードとして使えるのがわかる。古いのでYahooオークションなどにもたくさん出ているようだ。



表を撮ってみる。黒いチップまでよく読んでいない(^)。

†

DVDをLinuxで再生しようとしたら、CSSの暗号化で引っかかってしまった。『[[吉本隆明 全講演ライブ集]]』第15巻は2枚のDVDに収められた「シンポジウム 太宰治」である。画像はWindowsで再生しようとしているところ。



23:34:01 - belle - No comments

2006-11-18**FreeBSDハンドブック (web上の)**

なんとなくFreeBSDのportupgradeの知らないところから来る泥沼から脱出できそう。いつものようにパラシュート型学習法(^)で始めたので、ちゃんとFreeBSDのパッケージの管理法について読んでみたのも参考になった。[[FreeBSDハンドブック]]である。

Windowsでも同じだが、インストールできたら、まずデバイスの管理。音が出なかったらつまらないし、CDも聴けない。LinuxやFreeBSDのPCUNIXも同じだ。次に、WindowsでもWindows Updateを自動的にして、いつも新しい状態に保つように設定する。これもLinuxでもFreeBSDでも同じ。ここのところで泥沼にはまっただけで、じつのところ、このままにしておいてもWindowsよりはぜんぜん安全ではあるのだが、やはり気持ちが悪い。そのうえに昨日、MplayerというDVDビデオ観賞のソフトを入れようとしたら、この関係で入らなかった。どうやら、dependencyをfixして(各ソフトにはほかのソフトに依存している場合がある)、全部を最新の状態にすることができそう。FreeBSDでの最新というのは使っているReleaseで最新ということである。Windows Meの最新、Windows XPの最新、という感じ。ここの仕組みは似ているが、ちょっと違うのは毎日のように更新されるソフトがあることである。Debian GNU/Linuxでいえば、sarge版(現在の安定-stable-版)の最新。この最新の状態のところに今回はできたら動画編集ソフトを入れようと目論んでいるわけである。その際、ほんとうはいま使っているこのDebian GNU/Linuxのマシンがいちばんパワーがあるのだが、FreeBSDのマシンでやってみるということである。

†

一昨日の補足だが、秋葉原のjunkワゴンで売っているサウンドボードは、どうも半分ぐらいはLinux、FreeBSDで鳴る感じのものと思う。明日、マシンにIEEE1394ボードをとりつけるので、鳴る1枚目の記号部分の写真を撮って紹介してみたい。どうも新しいマザーボードのオンボードサウンドは新しすぎて鳴らないのが多いようである。それで、鳴らそうと、2~3日ついやすことになるが、これはどうも時間の無駄ということがわかってきた。なぜなら、100円から300円のボードを使えばいいことだからだ。もちろん、Windowsでは全部鳴るはず(^)。ただWindowsのデバイスドライバがwebから入手できればだが。Windowsの場合もマザーボードのサウンドチップよりいい音が出るのではないかと思う。ウェブカメラについてはYahooオークションで見られそうなのがあった。現在のぼくのウェブカメラは自分でデバイスドライバをコンパイルしたが、数百円で映るカメラを入手できればいい。ウェブカメラでPCUNIXでそのまま動くのはどうも秋葉原で見つからなかった。探し方が悪いのかもしれない。しかし、サウンドボードは、普通の中古ショップにたくさんある。

23:31:49 - belle - No comments

2006-11-17**マルチメディア**

とりあえずは、Podcastingで音声の配信はできるのだが、なんとかflvのファイルを作ってYouTubeみたいなののかなり小規模なのを作りたい。というのもflashのpluginはたいていの人のブラウザで使えるようになっているからだ。これはまず、普通のビデオ映像をflvというファイル形式に変換する必要がある。これは、ffmpegというソフトで行う。このあいだこのblogでもテストを行ったが、ぼくのもっている簡単なmpeg4ファイルで記録するデジタルカメラでは、どうも品質が悪い。fpsと

いうのだろうか。それがもともと少ないのかな。
さらにmpeg4は圧縮されていて編集しにくいので、スナップビデオ、スケッチビデオという感じで撮っていくのがいいようだ。
それから見れば音声のほうは、録音から、Audacityで自由に編集できる状態なので確立している感じ。
デジタルビデオカメラでテープに録画して、それに音声をかぶせたりしてみたい。
FreeBSDをインストールしたマシンはASUSのP4PというマザーボードでIEEE1394のポートがない。それでPCIバスに装着するのを買ってきた。
しかし、FreeBSDでportupgradeというコマンドと「pkgdb」というコマンドで、どうも依存関係が解消されない。また泥沼にはまったようだ。しかし、外に開けているわけでもないのに、このまま使っても差し支えはないだろうとは思う。
それにしてもソフトはいつも最新にしておく、というこだわりが出てきてなんとなく気持ちいい。

23:54:44 - belle - No comments

2006-11-16

秋葉原でjunk扱いのサウンドボードを数枚買う

Linuxには仕様が公開されていないとデバイスドライバがないサウンドボードがだいぶある。

最初は苦労していろいろやるのだが、最近はjunkとして売られているもののなかに、使えるものがあることがわかってきた。

今日はちょっと秋葉原に用事があったので、junk扱いのサウンドボードを数枚買った。100円から300円のものである。なかには5.1チャンネルのもある。でもあまりパソコンからオーディオ装置につないで音楽を聴く人も今はまだいないだろう。パソコンからつなぐスピーカーシステムはだいたい2.1チャンネルステレオである。1万円ぐらいで低音もいい音が鳴る。

これはLinuxで使えるだろう、というのは勘？でわかってきた(^^)。たとえばES1371というチップを使っていると鳴る場合が多い。今日買ったのもFreeBSDに挿してみたが、快い音が出た。



この右のところに「S3 Sonic Vibes」と書いてある。これは100円だったが、この「S3 Sonic Vibes」というのをgoogleで「Linux」とともに引くと使えるそうなることがわかる。しかもオンボード音源よりよほどいい音が出ると思う。オンボードのチップが対応していなければ、「ゴミを宝に」ということで秋葉原で買ってくればいいことがわかった。つい5枚ぐらいいろいろ買ってしまった。

23:54:22 - belle - No comments

2006-11-15

FreeBSDのRelease番号

下に引用したFreeBSDのReleaseの説明と、ほかのサイトの記述によると、5.5は5系列の最後で08年中ごろまでメンテナンスされ、だいたい同時にリリースされた6.1も同じくらいまでという。

さらに、6系に移行することを推奨する旨の記述がある。

しかし、先日6.1へのシステムアップグレードに失敗したので、同じくらいの期間メンテナンスされる5.5で当分いくことにした。

もともとがFreeBSDの「文化」に触れてみたいということと、ffmpegなどをカスタムコンパイルしてみたいというようなことがある。これは、次世代サーバであるDebian GNU/Linuxのデスクトップではあまり冒険したくないので、FreeBSDでしたいということである。それから『Apacheハンドブック』の著者はFreeBSDでサーバを動かしていて、10年で引っ越しのときだけ止めた、という記述があり、強固なシステムだろうという思いもあった。

いろいろやってみようと思う。最初はソフトの扱いだが、だんだんわかってきた感じ。

†

昨日、ちょうどビックカメラに行ったので、ビデオカメラを見てきた。もう8ミリフィルムを使うデジタルビデオカメラがあまり売っていないようだ。ミニDVDをメディアにして写すのと、HDDのカメラがある。聞くとコーデックはmpeg2だという。ぼくのXactilはmpeg4で記録されるが、性能的にfpsが少ないようで、もっと精度のいい動画を写してみたいので、興味があった。しかしHDDが入っていると衝撃に弱そうだなと思う。

23:36:41 - belle - No comments

2006-11-14

性懲りもなく、FreeBSDのシステムupgrade

夏ごろ壊したNikonの一眼レフカメラのレンズを修理に出しに行った。Nikonのオートフォーカスのカメラのレンズは、デジタル一眼レフに流用できるので便利だ。

†

性懲りもなく、FreeBSDのRelease5.4から今度は6.1ではなく、5.5にupgradeを試みている。

さてうまくいくかどうか。先日は正規の手続きを踏まなかったので、よくドキュメントを読んでやってみよう。このリリースは当分、updateされるようなので、とりあえずはこれにすることにした。

15日00:30、upgrade成功! (^)

23:07:48 - belle - No comments

2006-11-13

初冬の空

日が短くなってきた。

仕事先の窓からの空を携帯電話のカメラで撮ったもの。



†

地下鉄で「Linux Journal」を見ていたら、「Editor's Choice 2006」にはもう1ページあった。明日、サイトに行行って見てみるつもり。
DVI接続でFreeBSDとWindows XPのマシンを一つのモニタで切り替えて見られるようになった。とはいうものの、4台のマシンを常時稼働させていたらさすがに電気代がかかるので、そうはしないつもりではある。しかしなんとなく遊びやすくなった感じ。

23:35:58 - belle - No comments

2006-11-12

再度、FreeBSDのインストール

FreeBSDのRelease6.1にUpgradeするのに失敗して、またインストールする羽目になった。それで代わりにkernelの新しいUbuntuを入れようと思ってインストールCDを焼こうとしたが、ダウンロードに2時間ぐらいかかるのでやめた(^^;;)。

この記事はFreeBSDから書いている。

まあ、このデスクトップ画面のように静かな夜を落ち着いて過ごそう。

kernelのUpgradeはやはりDebian GNU/Linuxのほうがやりやすい。

下のリンクを押すと、デスクトップ画面（1280x1024px）がポップアップします。

[FreeBSDのデスクトップ画面](#)

縮小画像。



23:18:14 - belle - 2 comments

2006-11-11**FreeBSDのRELEASE**

サーバはDebian GNU/Linux、サーバテストはFreeBSD、アクセステストとゲーム、日常アプリケーションに必要なものはWindows、Macと考えが固まってきた。しかしWikipediaによると、明後日、新しいRELEASEが予定されている。さっそくシステムのUpgradeだが、まだよくわかっていないので時間がかかりそう。

2006年

* 4月1日 FreeBSD 2.2.9-RELEASE (エイプリルフールのネタとしてリリース)

* 5月9日 FreeBSD 6.1-RELEASE

* 5月25日 FreeBSD 5.5-RELEASE (5.x系最後のリリース)

* 11月13日 FreeBSD 6.2-RELEASE (予定)

23:50:41 - belle - No comments

2006-11-10**大辞林のweb公開**

大辞林の第3版はそのまま、webでも公開されている。ただし、ログインには、買った人がわかるクイズを解いてアカウントを獲得する必要がある。「あ行」のみ試用版として公開されている。

[大辞林第三版\(デュアル大辞林\)](#)

さっそくログインして、引いてみると、類語辞典にもなっている。「週刊読書人」によると、ウェブ版の無料提供は、1997年ごろから紙媒体市場が1200万部から600万部に減少し、電子辞書が100万台から330万台へと急成長したためだという。用語の追加・更新も実施するという。

僕としては、大辞林はぱたんと開けて引くのに慣れているので、web版はあまり使わないと思うが、引用の際には便利だと思う。

†



このあいだ、100円ショップで買った懐中電灯が壊れたと書いたが、そうではなくて、ニッカド充電電池が劣化したから点灯しなかったことがわかった。ぼくはニッカド電池は半永久的に充電できるという錯覚があったのだった。この電池にはリサイクル云々と書いてあるが、どこに持っていけばいいのだろう。ニッケル水素充電電池もある。

22:34:59 - belle - 2 comments

2006-11-09

FreeBSDのportupgrade

ためにfirefoxを最新版の2.0にしてみたが、コンパイルするのに1時間ぐらいかった。

実際、ソフトウェアのありがたみを知るには、自分のパソコンの環境を読み込むソースからコンパイルするのがいちばん喜びも多くていいのだが、Linuxのバイナリupgradeに比べるとだいぶ感じが違う。

いきなりデスクトップをすべて構築するのではなく、楽しみながら、ひとつひとつ吟味しながら構築するのがFreeBSDの流儀かもしれない。

Linuxでは、firefoxがupgradeされたときに最新版に置換される時間は2、3分というところだろう。

†

昨日の、「Linux Journal」の「Editor's Choice 2006」という特集の続き。

「Communication Tool」では、[[Asterisk]]1.2.12。

これはオープンソースのIP電話と交換機機能をもつソフトウェア。Skypeの音声オープンソースでないコーデックを使っているのと違い、これは完全オープンソースのようだ。IP電話ジャックのあるルータで、IP電話が使えるのなら、そのままパソコンのヘッドセットで使えそう。Debian GNU/Linuxでも正式Packageに入っている。あ、ルータにIP電話ジャックがなくても使えるのかな？

[Asterisk | The Open Source PBX](#)

「Software Development Tool」部門では[[Eclipse]]3.2。Eclipse is a Java-based extensible integrated development environment(IDE).Javaをインストールしたときにインストールするかどうか迷ったがあまり開発には縁がない(^^)のでやめておいた。しかし、実際使っている方は多いようだ。

「Web Application Framework」部門ではぼくもかじった[[Ruby on Rails]]1.1.6。

「Development Book」では、[[Ajax Design Pattern by Michael Mahemoff]]。解説によると「You can almost think of it as an Ajax cookbook」とある。

「Notebook」では、[[Lenovo ThinkPad T Series]]。Linuxドライバのサポートがとてもしらしい。たぶんノートパソコンにLinuxをインストールするのはひと苦労だと思うが、解説に書かれているようにLinuxですぐ使えるとなれば面倒がなくていい。

「Graphics Software」では[[Autodesk Maya]]8。サイトに行ってみたがはっきりどのようなものかわからない(^^)。3-Dレンダリングでは、Pov-Rayをちょっとやってみたが、これもDebianでインストールできそう。製品版はプロでないと高いし意味がなさそうだが。

「lib3ds-dev - Autodesk 3D Studio file reader C library」というのがPackageに入っていた。

「Management or Admin Software」部門では[[Mantis Bug Tracking System]]1.0.5。

「PHP Web-based tool」らしい。

「Hosting or Colocation」は、[[Johncompanies]]。

22:53:54 - belle - No comments

2006-11-08**FreeBSDの再インストール**

FreeBSDを午前中、2時間ぐらいかけて再インストールした。

[[nVidia]]のGeForce 7600GTというグラフィックボードのデバイスドライバを適切にインストールするには、まだ、nVidiaのサイトから圧縮ファイルをダウンロードして解凍し「make install」し、さらに、「/etc/X11/」に作った「xorg.conf」を書き換えたりしなければならなかった。これは夜帰ってきてからやった。

やったことについてはb2evolution blogのFreeBSDの項目に書くつもりである。

というのも、GeForce 7600GTのチップを使ったグラフィックボードを今買う人が多いかもしれないし、これをFreeBSDで使うためにいろいろな手続きを踏んでもせっかく買ったのだから、その力を最大にもっていかないともったいないと思うから。

このFreeBSDをインストールしたマシンなら、いろいろ特殊な遊びをしてもサーバにはしないのでゆったりできる。たとえば先だっの「flvファイル」を作るためにffmpegをオプション付きでビルドできればサウンドも有効になると思う。

†

「Linux Journal」のDECEMBER ISSUEでは、「Editor's Choice 2006」という特集をやっている。

Linux Distributionでは[[Ubuntu]]6.06が選ばれている。このディストリビューションは出自が面白い。「End-User or Non-Technical Book」の項目でも「Beginning Ubuntu Linux」が選ばれている。これはすでに翻訳があるかもしれない。

「Office Suite」では[[OpenOffice.org]]2.0.3。Microsoft Exellはよく仕事などで使われるだろうが（ぼくは必要ないが）、エクセルのファイルも読みこめる。プレゼンテーションから、ワープロ、ドローソフトなどいろいろ組み合わせられている。細かくは「Spreadsheet」の部門で「OpenOffice.org 2.0.3 Calc」、「Presentation Software」で「OpenOffice.org 2.0.3 Impress」が選ばれている。

「Desktop Environment」では[[KDE]]3.5.4である。これは今もこのデスクトップで使っている。FreeBSDのデスクトップもKDEである。

「Word Processor」部門では[[AbiWord]]2.4.4。通常Linuxでワープロは使わないのでよくわからないが、日本語でこのワープロを使ったことがある。

「Web Browser」では[[Firefox]]1.5.0.6。ぼくはメーカーと組み合わさった[[Mozilla]]を使っているが、同じようなもの。「Mail Client」もMozillaから分かれた[[Thunderbird]]1.5.0.5。

「Database」は[[PostgreSQL]]8.1.4。灰皿町ではMySQLを使っているが、PostgreSQLを使うこともできる。

「Language」は[[Ruby]]1.8.5。ぼくも学ぼうとしている。

「Security Tool」はNovell AppArmor。これについてはよくわからない。

「Game/Entertainment Software」部門では[[Quake]]4。これは英語なのでよくわからないが、LinuxにもFreeBSDにも簡単にインストールできるようである。

「Web Server」部門は[[Apache]]2.2。これは当然のような感じ。灰皿町でApache2系を使わないのはPHPとMySQLのバージョンによる。

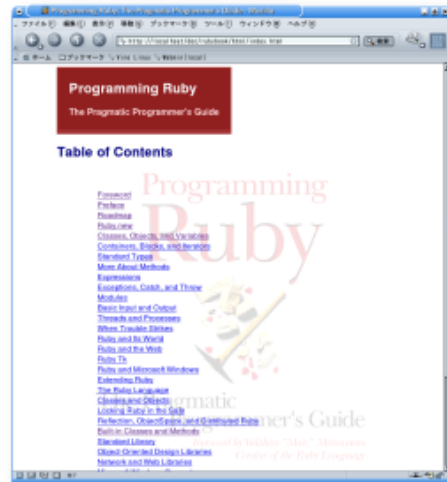
あと8つあるが、また明日(^)。

23:23:42 - belle - No comments

2006-11-07**rubybook**

Ruby on Rails を先だってちょっとかじったが、これにはrubyというプログラミング言語に慣れる必要がある。そこでrubyの本を買おうと思ったのだが、rubybookというのがすでにインストールされていた。localhostにインストールされていれば場所

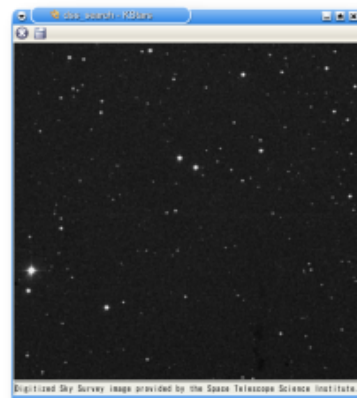
は、ブラウザから、
localhost/doc/rubybook/html/index.html
にアクセスすればいい。



英語だが、本屋さんで買くと4000円ぐらいするようである。
英語がよくわからなくても、Perlなどを少し学んだ場合、内容はわかるようである。

†

昨日、少しやったKStarsは、星座表の中を右クリックすると自動的にその部分の空の
の写真がダウンロードされるという優れたものだった（ハッブルの写真？）。



北斗七星付近。実際はもっと大きな写真が表示される。

23:53:20 - belle - No comments

2006-11-06

今日の星座

FreeBSDは暇なときに入れ換えることにした。

Kstarsによる星座（日付が変わってしまったが）。下のリンクを押すとポップアップ

プします。このソフトは望遠鏡デバイスに繋がられるようになっている。

[06_11_07 0時過ぎ : 1045x978px](#)

23:59:20 - belle - 2 comments

2006-11-05

新しいグラフィックボードでハマる

FreeBSDマシンに、Leadtek WinFast 7600 GT TDHを装着したら、X Windowが起動しなくなった。

ここから泥沼にはまった。そもそも、XOrgのデバイスドライバにこの新しいデバイスのものがないようだ。nVidiaのデバイスもPortsインストールできるのですが、さんざんいろいろやっているうちに訳がわからなくなった。FreeBSDのシステムをよく知らないのが理由だ。

ただインターネットで調べてみるとデバイスドライバは自分でビルドできるようだ。しかし、すでにぐちゃぐちゃになってしまったので、だめみたい。

FreeBSDでは、ソフトウェアのUpgradeは稼働するマシンでコンパイルされる。Debian GNU/Linuxのようにapt-getでバイナリ版を合わせるのではないので、一つのソフトウェアのUpgradeでもけっこう時間がかかる。どうもシステムから再インストールする羽目におちいったようだ。

これもずっとFreeBSDマシンを触っていなかったせいもある。FreeBSDでは毎日Portupgradeをするのが普通のようだ。cronでやるのだろうが、やはり常時稼働が原則であるようだ。

23:19:52 - belle - No comments

2006-11-04

DVIディスプレイ切替器

2つのパソコン（自作、OSはWindows XPとFreeBSD）のDVI出力で、一つのディスプレイを使うために切替器を買ってきた。



真ん中にディスプレイからのコードを入れ、左右に2台のパソコンからのコードを差し込む。Linuxマシン2台はアナログの切替器で随時、切り替えていてうまくいっているが、どうも信号タイミングなのか、こちらのDVI出力のほうはまだちゃんと動かない。不思議。

23:55:48 - belle - 2 comments

2006-11-03

グラフィックボードの写真

昨日の写真の箱から出したグラフィックボード。Leadtek Winfast A7600 GT TDH(AGP 256MB)

FreeBSDに仮に差し込んであったグラフィックボードは、INTERPEED JN100/32D というもので、いまや売ってないものだ。グラフィックボードはゲーマーが高くて も買うのでどんどん発達しているように思う。



†

DRI(Direct Rendering Infrastructure)が有効かどうか確かめるには、

```
shimirin@debian2:~$ glxinfo
name of display: :0.0
display: :0 screen: 0
direct rendering: Yes ← ここがYesなら有効
server glx vendor string: NVIDIA Corporation
....
```

というようにglxinfoというコマンドを打つ。

kernel側のドライバではあまり種類がないし、nVidiaのボードがよく売っているの で、Debian GNU/Linuxのnon-freeコンポーネントのドライバを使う。これについてはbloxom blogのほうで書いた。

ただ、サーバにする場合には、kernel組み込みでないと、kernelのUpgradeのとき に、ビルドする必要があるので、面倒な方は使わないほうがいいかもしれない。た だ、高速3Dのssystemなどを見たりGUIの見栄えからいっても、やはりデスクトッ プではdirect renderingは有効にしたい。

23:49:59 - belle - No comments

2006-11-02

『大辞林 第3版』が届く、年末の楽しみ第1弾、**Core 2 Duo**は**Linux**に時期 尚早じゃないかもしれない？

『大辞林 第3版』が届いた。装丁は、第2版を少し変えただけ。
左が第2版、右が第3版、本名の「清水哲夫」が箔押ししてある。これがいいのは、 外に持ち出したときに小学校の生徒のように持ち物の印になることだ。
第1版から買っているのはずっと初版第1刷だが、前にも書いたように辞書は第2刷 でだいたいが誤植など訂正していると思う。だいたいキャンペーンで出たころは少し安 いので買うことになる。



†

また秋葉原に行って、3年前のパソコンのチューンナップ部品を買ってきた。
Leadtek Winfast A7600 GT TDH(AGP 256MB)



これはFreeBSDマシンにつけるつもり。グラフィックボードはPCI Express対応のものに移りつつあるので、AGPx8のものは多少値下げ傾向かもしれない。たしかこのマシンにはPC2700のメモリがのっているので、これをPC3200にすると速くなるのだが、5600円(512MB)するので今日はやめておいた。もし、PC2700をはずしても使うマシンがない(^)。あと、PC切替え機を買って、WindowsXPと共有モニタにすることにしたが、デジタル出力の切替え機なので、9800円もした。計3万円ちょっとの出費である。

ちょっと秋葉原の店の人と話をして、Core 2 Duoを使ったLinuxマシンを組み立てた人の噂を聞いたが、まだいないそうである。

とはいうものの、パラレルIDEのHDDとSATAのHDDを両方のせられるマザーボードなら、考えたら、チップセットが大丈夫ならばぜんぜん問題なくインストールできそうだと思う当たった。DebianのkernelのバージョンだとSATAのHDDは面倒なことになるかもしれないので、パラレルIDEを入れればなんのことはないと思いはじめた。普通のATXケースに合った規格のマザーボードもあるそうだ。

†

灰皿町のサーバのkernelをi386からi686に替えた。そのためさきほど5分ぐらいサーバが停止しました。一部、速くなったところがあるとは思いますが体感できるほどではないと思う。

23:00:00 - belle - No comments

2006-11-01**LinuxとWindowsXPの文字表示**

LinuxのX Windowで使っているフォントのほうが、WindowsXPのフォントより明朝もゴシックも滑らかに表示される。なにかWindowsのほうでも滑らかにする方法があるのだろうか。

下はLinuxでの文字表示。その下はWindowsXPでの文字表示。ビデオボードはむしろWindowsのほうのほうがいいのを使っている。Windowsのほうが横幅が狭いのはプロポーションナルフォントを使っているせい。

灰皿町には新しいシステムのページができて、右側にある「灰皿町便利帖」で、使います。また最近ではPoemWikiのページもありますので、これについてはその説明で十分、もちろん自分でいろいろと富士見3番地を(^)。 PoemWiki内にある[自己紹介](#)です。

灰皿町には新しいシステムのページができて、右側にある「灰皿町便利帖」で、使い方などの説明はPoemWikiのページもありますが、詳細な説明についてはその説明で十分なようです。もちろん自分でいろいろと富士見3番地をPoemWiki内にある[自己紹介](#)です。

†

今年の年末は今まで作ったパソコンのチューニングを中心にしようかと思いはじめた。まず、FreeBSD用のビデオボードをいいのに替えて（20000円弱）、PC切替え機（5000円ぐらい）を買い、サーバを除いてLinux、FreeBSD、Windowsをいつでも見られるようにする。

来年1月にWindows Vistaが出たら、Core 2 Duoのパソコンを作るという感じ。

23:53:23 - belle - No comments